

報道関係者各位

2013年12月13日

東洋学園大学

本郷キャンパス：東京都文京区本郷1-26-3

流山キャンパス：千葉県流山市鱈ヶ崎1660

東洋学園大学「人間と犯罪ゼミ」が本富士警察署 と連携し地域のパトロール活動を実施

人文学部人間科学科「人間と犯罪ゼミ」の学生と警視庁本富士警察署が
秩序違反行為の放置状況の調査・改善に向けて協力

東洋学園大学（学校法人東洋学園 本部：文京区本郷 理事長：江澤雄一）の人文学部人間科学科※「人間と犯罪ゼミ」（宮園久栄教授）に所属する学生が、東京・本郷キャンパスと本富士警察署周辺地域におけるゴミのポイ捨てや放置自転車、落書きなど秩序違反行為の放置状況を調査し、その結果、出た改善案が過ごしやすい地域へつながることを目標として、警視庁本富士警察署と協力して地域のパトロールと防犯に関するチラシ配布のキャンペーンを企画。11月19日（火）に第1回目のパトロールを実施しました。

※人文学部人間科学科は、2013年4月入学生以降を対象に人間科学部人間科学科へと学部昇格・名称変更。

11月19日（火）を皮切りに、2013年内に計3回のパトロールを予定

今回の企画は「人間と犯罪ゼミ」の活動の一環として、東洋学園大学の東京・本郷キャンパスと本富士警察署周辺地域である東京都文京区本郷2丁目、3丁目での秩序違反行為の放置状況を調査する目的で実施。11月19日（火）に行われた第1回目は、「人間と犯罪ゼミ」の学生と本富士警察署で地域安全を担当する署員らが3班に分かれてパトロールを実施。ゴミのポイ捨てや放置自転車、落書きなどの秩序違反行為の放置状況を記録。同時に、ゴミの回収や放置自転車への注意喚起のタグづけ、落書きの清掃などの活動を行いました。

パトロールは11月、12月に全3回行われ、毎回班ごとに事前に下見を行ったうえで決めたルート、チェックポイントを巡回し、パトロール前後で地域の様子に変化があったかどうかを調査・研究します。最終的には3回分の比較検討データとそこから導き出される地域の安心・安全を向上させるための改善案を報告書にまとめ、本富士警察署に提出予定です。



犯罪について学び、暮らしの安心・安全に貢献する「人間と犯罪ゼミ」

今回の企画は、本学「人間と犯罪ゼミ」の学生が主体となって企画・進行しています。

昨年（2012年）の12月より環境犯罪学や犯罪予防論等の勉強会を行い、今年（2013年）の9月から本富士警察署への企画提案と打合せのほか、パトロールのルートや日程の調整などを重ね、今回の実施に至りました。

今年度の3年生で8期目となる「人間と犯罪ゼミ」では、かねてより地域住民に対する被害者調査や犯罪予防などに関する調査を実施し、地域安全マップや犯罪予防パンフレットを作成したり、本郷大横丁商店街のビアガーデンイベントでお手伝いや防犯の呼びかけを行うなど、地域との交流を通じて安心・安全に暮らせる社会づくりに対する様々な活動を行ってきました。また、模擬裁判の実施や裁判傍聴、刑務所・少年院等の施設参観など、刑事司法制度の理解、加害者の心情や被害者の心情、犯罪に対する人々の感情、刑罰の意味等についての探求を行うなど、社会における犯罪について考え社会に貢献できる人材を育成。これまでも、警察や消防、防犯関連企業などで活躍する卒業生を輩出しています。



* 本件に関するお問い合わせ先 * 東洋学園大学 広報室 (担当: 北川・大橋)

電話 03-3811-1783 FAX03-3811-5176 e-mail:koho@of.tyg.jp <http://www.tyg.jp>